

委員会のうごき

総務文教常任委員会

委員会に付託された議案については、平成26年度八潮市一般会計歳入歳出補正予算(第7号)の分割付託1議案、平成27年度八潮市一般会計予算の分割付託1議案、その他8議案のあわせて10議案の審査を行いました。

八潮市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例については、意見として「反対の立場で討論します。本議案は給料表を改正するもので、平均2パーセント、最大4パーセント引き下げるものと説明されています。今議会にもありますように、国は消費税率8パーセントへの引き上げや円安による物価上昇のもとで消費喚起を促そうと多額の交付金を使ってまで行おうとしています。その一方で給料の引き下げを実施することは矛盾しています。地域手当が引き上げられる、とされています。引き上げるとは当然としても、給料そのものの引き下げは、共済年金や退職金などの支給額に影響を与えることになります。よって本議案に反対するものです」との発言がありました。

建設水道常任委員会

委員会に付託された議案については、平成26年度一般会計補正予算(第7号)の分割付託1議案、平成27年度八潮市一般会

計予算の分割付託1議案、その他の19議案のあわせて21議案の審査を行いました。

草加八潮消防組合の設立については、「議案36号草加八潮消防組合の設立について賛成の立場で討論します。消防職員の八潮市の救急車、ポンプ車、指揮車、化学車など現有台数に対する人員の平成25年度の充足率は64パーセントです。これが草加八潮消防組合になってもほぼ現有台数に対しては本市の現状より上がることでした。国の「消防力の整備指針」では消防広域化により管轄人口30万人以上では、満たすべき基準が緩和されるので、組合の消防力を現状より基準を下げることなく上げていくことが求められます。消防団については、各市の管轄になることですが、町会の防災訓練や地域の防火活動にも貢献しており、消防署との連携が今までどおり行えるようにすすめてもらうことを求めるものです。消火体制の充実については、草加市・八潮市広域消防運営計画の中に署所配置の検討を行うこととなっています。火事を最小限にとどめ延焼を防ぐためには、出動から6分30秒以内に現場につき放水を開始とされています。放水準備に2分かかり、逆算すると走行時間4分30秒以内に到着が求められます。このことから市街地には、おおむね2・8キロメートル以内に1カ所の署所が必要です。この点から見ると、つくばエクスプレス以南区域が特に初動体制の強化

福祉環境常任委員会

が図られる必要があります。八潮市議会は、2011年12月議会で大瀬出張所を、廃止する補正予算に対し「今後必要となる駅南部地域への消防分署などの設置について検討をはじめると」の附帯決議をつけて可決しました。両市の広域化計画にも「出動体制を見直すことで初動体制の強化を図るものとする」と示されています。早期の実現を求めるものです。以上申し述べて討論とします」との発言がありました。

委員会の付託された議案については、平成26年度八潮市一般会計補正予算(第7号)の分割付託1議案、平成27年度八潮市一般会計予算の分割付託1議案、その他10議案のあわせて12議案の審査を行いました。

平成26年度八潮市一般会計補正予算(第7号)については、意見として「一般会計補正予算に反対の立場から討論します。最大の理由は、国の26年度補正予算にもなう施策にあります。全額、国庫支出金で実施されるもので、市としては有効にということになるかと思いますが、そもそも国が何故こんな予算措置をしたのか問われなければなりません。アベノミクスのもとで大企業を中心に経常利益は過去最高水準といわれながら、国民生活は消費税の引き上げや

円安にもなう諸物価の高騰、実質賃金は下がり続けたままとされています。また、地方の活性化といわれていますが、その要因そのものについての反省が求められるものと思います。よって、国の責任を明確化させることが必要のことから討論とします」との発言がありました。

次に、平成26年度八潮市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)については、意見として「国民健康保険特別会計補正予算(第4号)については反対の立場から討論します。一般被保険者数及び世帯数の減少、所得の減少等に伴い保険税収入を減額し、一般会計から補填する額という補正ですが、予算当初の積算の困難さやうかがえるものの、年度末まで引き伸ばしての補正ということではなく、調整できたのではないかと考えます。予算の積算、加入状況等については精査し、早期の対応を求めたいと思います」との発言がありました。

次に、平成27年度八潮市後期高齢者医療特別会計予算については、意見として「本医療制度の開始にあたっては、様々な問題を抱えていましたが、予想通り、日々高齢者に負担を重く課すものとなっています。昨年の保険料引き上げに続き、特例軽減をも廃止し、低所得者にも負担をすることが浮上しています。全国7位の高額の保険料に、八潮市の滞納者も増加しています。市の財政負担も大変です。財政安定化基金の取り崩し

で保険料を引き下げることで、特例軽減の存続を積極的に求めていくことが必要です。以上、申し述べ反対の討論とします」との発言がありました。

陳情

■地域社会建設決議に関する陳情書
陳情者住所 横浜市中区本郷町3-287
陳情者 荒木 實

■原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律の改正を求める議会決議・意見書採決に関する陳情書
陳情者住所 蕨市中央1-27-9
陳情者 埼玉県原爆被害者協議会 会長 田中 熙巳

編集後記

議会報編集委員会から

「私は女性と十分に対話できなかったことを後悔している。女性からは、男たちがあえて私に語ろうとしないことを、学ぶことが出来る。女性には全く特別な独立性が在るのだ」
ナポレオン
ナポレオンでさえ女性のもつ知恵や力に学び、生かすことが出来なかった。
英雄の在位から200年、今やと国も女性の可能性に気が付き、女性管理職の目標を数値で表すようになりました。
新年度が始まって1カ月、市役所にも17人の女性管理職が登用され、清新な息吹を職場に漂わせています。

一方、八潮市議会では6人の女性議員が選任され、市民の代表として活躍されています。地方創生とは女性が活躍する時代と捉えたい。
(森下純三)

議会の詳細は

「ホームページ」でご覧になれます。

議案の審議状況や市政に関する一般質問等の詳しい内容については、ホームページをご覧ください。

また、「議長の交際費」を掲載しておりますので、ご覧ください。

★ホームページアドレス <http://www.city.yashio.lg.jp/gikai/>